

令和7年7月10日会議概要

第1 日時

令和7年7月10日（木）午前9時20分から午前11時45分までの間

第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森委員、森田委員、増田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部長等
《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

援助要求に基づく特別派遣の決裁（7月7日）

委員から、石破総理大臣の来県に伴う警護に関し、警察法第60条第1項に基づき滋賀県公安委員会からの援助要求があり、本年7月7日、警察職員を特別派遣することを決定した旨、報告があった。

2 議題

(1) 「#Kids Police チャレンジ 2025」の開催について

総務部長から、夏休み期間中の本年7月26日、広報センターにおいて、小学生以下の子供及びその家族を対象に、「#Kids Police チャレンジ 2025」を開催する旨、報告があった。

午前120人、午後120人を事前予約で受け入れ、子供対象の体験型防犯教室や施設見学、車両展示等に保護者とともに楽しみながら参加してもらうことで、防犯・交通安全の意識を高めるとともに、警察活動への理解と協力を得ることを目的に開催する。また、昨年「参加希望者が多数であれば、年2回の開催をすればどうか。」旨の委員の提案を受け、今年は秋以降にも同様の取組を開催する旨、説明があった。

委員から、「小学生の将来になりたい職業は、警察官が1位である。学校段階が上がるごとに希望者は減少するが、工夫していただき警察官の採用に繋がる取組にしていなければありがたい。」旨、発言があった。

(2) 多面観察の実施について

警務部長から、新たな取組として本年10月頃に、組織パフォーマンスの向上のための「多面観察」を実施する旨、報告があった。

これは本部長以下所属長を観察対象者、観察対象者の部下職員のうち、原則として警部補以上を観察者とし、一定の設問に対する観察者の回答をフィードバックすることで、管理職としてのマネジメント能力等の向上につなげるとともに、職員が能力を最大限発揮できる風通しの良い職場の構築に結びつけることを目的としている旨、説明があった。

委員から「民間では、二十数年前から実施している。対象者個々の平均値と併せて、その対象者と同じ役職の人達の平均値をフィードバックし、自分の平均値が他と比べてどのくらいのものか分かるようにしている。また、多面観察の結果は、人事評価に

反映している。」「観察者への業務推進の項目の設問案は、「部下に対して業務方針等を明示した上、進捗状況等を把握し、適時適切に指導や助言を行っている」となっているが、これらは3つの項目に分けた方が良いのではないか。」「極めて重要なことで、最初は色々混乱があり不平不満も出るかもしれないが、何年かすると合意形成されていくと思う。大変で厄介なことだと思うが、必要なことと思われるので、よろしく願う。」「フィードバック時にコメントを添えれば良いと思う。」旨、発言があった。

また、委員から「この結果を基に、誰かが所属長を面談することはあるのか。」旨、質問があり、警務部長から「現時点では、面談予定はない。今後、様々な方法を検討していく。」旨、回答があり、警察本部長からも「まずは、初めての試みであり、自分の平均値と全体の平均値を比較し、気づきを得てもらうことから始めたいと考えている。将来的には、委員の意見を踏まえて、よりバージョンアップも検討していく。」旨、回答があった。

(3) プロバスケットボールチームとの「少年の健全育成に関する協定」の締結について

生活安全部長から、本年7月25日、警察本部において、京都を拠点とするプロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」と、「少年の健全育成に関する協定」の締結式を行う旨、報告があった。

昨年、刑法犯で検挙・補導した少年の人数は646人と2年連続増加していることに加え、大麻乱用で検挙・補導した少年は53人と過去最多であり、そのうち、6割が有職少年という実態であった。学校との繋がりのない有職・無職少年へのアプローチが課題である中、スポーツを通じたはたらきかけが有効と考え、少年への影響力がある京都ハンナリーズに対し「少年の健全育成を図る取組」について協力依頼を行った結果、合意に至った旨、説明があった。

委員から「私もハンナリーズの試合観戦をしたことがあるが、非常にPRの仕方が上手であり、若者の心に響くような企画力・発信力もあると思うので、現実的な実効力のある取組になっていくと思う。期待している。」「大学の有名運動部で、連続的に大麻等で摘発されることがあり憂慮されているので、有名バスケットボールチームと協定を結んで少年の健全育成に取り組むのは大変良いと思う。よろしく願う。」旨、発言があった。

(4) 指定暴力団八代目会津小鉄会の指定暴力団の再指定について

刑事部長から、指定暴力団八代目会津小鉄会について、暴力団対策法に基づく指定暴力団の指定に向けた手続きを進めていたところ、国家公安委員会において、同団体が同法に規定する指定暴力団に該当すると確認された旨報告があり、審議の上、府公安委員会において同団体を指定暴力団に指定し、その旨官報に公示するとともに同団体を代表する者に通知することを決定した。

(5) 「令和7年夏の交通事故防止府民運動」の実施について

交通部長から、本年7月21日から同月30日までの間、「令和7年夏の交通事故防止府民運動」が実施される旨、報告があった。

「京の夏 マナー遵守で 涼やかに」をスローガンに、期間中、こどもと高齢者の交通事故防止、歩行者の安全確保、自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用の啓発活動のほか、飲酒運転取締りや横断歩行者妨害等違反の取締り活動を強化し、府民運動を契機として交通事故防止の徹底を図っていきたい旨、説明があった。

また、活動のほか、期間中のイベントとして、7月25日、京都府自動車運転免許試験場において、「夜は光って目立ちまショー」という夜間の反射材の着用の効用等について照射実験等で府民に伝える催しを実施する旨、説明があった。

委員から、「外国人が、特定小型原動機付自転車に乗車し、右側通行をしているのをよく見かけるので、これも併せて啓発していただけるとありがたい。」旨、発言があり、交通部長から、「積極的に取り組みたい。」旨、回答があった。

(6) 「けいはんな経済安全保障セミナー」の開催について

警備部長から、本年7月23日、けいはんなプラザにおいて、「けいはんな経済安全保障セミナー」を開催する旨、報告があった。

経済産業省と共催でセミナーを開催するもので、「経済安全保障の観点からの技術流出対策」、「対内直接投資審査制度（外為法）」「外国への技術流出」「サイバー攻撃の脅威と対策」をテーマに講習を行い、企業の情報流出にかかる危機意識を高めるとともに、センターの有用性をアピールする旨、説明があった。

委員から「経済産業省で注目していただいているのは、ありがたい。なるべく多数の企業が参加するようPRをよろしく願う。」旨、発言があり、警備部長から、「けいはんな学研都市以外の企業の参加について問い合わせがきている状況であり、受けていきたいと考えている。」旨、回答があった。

(7) サイバー防犯ボランティアによる高齢者対象の被害防止講演の実施について

サイバー対策本部長から、本年7月18日、ふれあい交流館ゆうホールにおいて、サイバー防犯ボランティアによる高齢者対象の被害防止講演を実施する旨、報告があった。

サイバー企画課が、ネット安心アドバイザー、京都府警察CYCOTと連携し、体験型ネットトラブル対策講座や防犯寸劇を行い、高齢者のサイバー犯罪被害を防止するため広報啓発活動を行うとともに、その際、国際電話利用休止の手続の支援も併せて実施する旨、説明があった。

委員から、「サイバー防犯ボランティアの高校生が参加するのは、ありがたい。より取組が広がっていけばと思う。」旨、発言があった。

(8) 初任科第 273期（長期課程）卒業式の実施について

警察学校長から、本年7月22日、京都府警察学校において実施される初任科第 273期（長期課程）の卒業式の実施概要、出席者等について報告があった。

3 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、19件の行政処分を審議した。

4 個別決裁

(1) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（1件）

監察官室訟務官から、運転免許の取消処分を受けた者（1件1名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(2) 滋賀県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について

警備部次長から、警察法第60条第1項に基づく滋賀県公安委員会からの援助要求に対して、7月7日、公安委員会の意思決定を受けた上で、本日、警察職員を特別派遣した旨の報告があった。

(3) 公安委員会宛て苦情について（処理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、過日受理した公安委員会宛の苦情申出1件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

5 個別報告

(1) サイバー人材の確保と育成について

サイバー対策本部担当補佐から、近畿管区内公安委員会連絡会議第150回定例会議の討議テーマであるサイバー人材の確保に向けた取組状況とサイバー人材の育成の現状について報告があった。

(2) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。